



アイ・リンク だより

新春号 2023.01 No.109

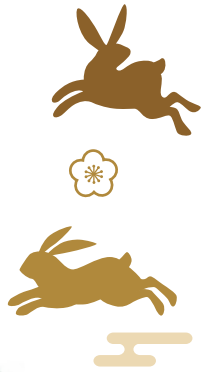
INDEX

- 01 ● 代表ごあいさつ
- 03-06 ● 各社年頭ごあいさつ
- 07 ● 関東運輸局長表彰
- 08 ● スタッフさん紹介

真心つなぎ 人財づくり
アイ・リンクグループ



新年、 明けまして おめでとうございませす。



おかげさまで、無事に新しい年を迎えることができ、心より感謝致します。

また、アイ・リンクグループの皆さま、そして、ご家族の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さんもご存知のとおり、今年はい卯年(うさぎどし)ですが、うさぎには、跳ねる特徴があるため、「景気が上向きに跳ねる・回復する」と言われており、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれています。また、新しいことに挑戦する縁起の良い年とも言われています。

そういった意味を踏まえて、今年はいこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年にしていきます。アイ・リンクグループでは昨年、新たに「ニッタル運輸」と「崎戸運送」の2社がグループに加入したことにより、国内会社が14社となりました。事業会社の協力体制、経営基盤の強化を目的とした事業協同組合として「アイ・リンク協同組合」も設立致しました。グループの強みとして共同購買や共同配車、DXなど、シナジーを出し効率化していきます。

2023年度は海外を含めグループ総売上111.5億円を目標としています。2033年の創業100周年には、グループ総売上300億円を目指します。そのための10年のスタートの年となります。ここで重要な事は、成長であって、膨張ではありません。しっかりとした経営基盤の基、利益を確保しながらの成長です。膨張は必ずどこかで破綻します。この事をよく踏まえて、計画達成に邁進して頂きたいと思致します。

また今年、力を入れたいことは、足元を見つめ直し強化することです。すなわち現場力の強化です。お客様に満足して頂くためには何と言っても現場力です。各事業会社の幹部、スタッフさんたちはしっかりとこの事を頭に入れて今年の業務に当たって下さい。現場力の強化をお願いします。

また、物流業界にとっては避けては通れない2024年問題の最終年度となります。各事業会社の幹部はこの1年でしっかりと対応出来るように対策をお願いします。最後になりますが、「卯年」に込められた意味合いを基に、グループが成長し飛躍していく年として、皆さま自らが変化の源として、失敗を恐れずに「チェンジ&チャレンジ」精神で次の変化に繋げていくことに期待しております。アイ・リンクグループの皆さま、そして、ご家族の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り致します。

引き続き、コロナには十分に注意して頂き、本年もより一層のご協力とご支援を賜りますよう、心よりお願い致します。年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もぜひご直しくお願ひいたします。

 アイ・リンクグループ

代表 石島 久司

デジタル化を強力に



株アイ・リンクホールディングス
常務取締役

石島 真也

あけましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大から3年弱が経過しました。その間、日々の生活環境のみならず、社会の在り方そのものが変容しました。

一方で、ニューノーマルの行動様式やリモートワークなど新たなスタイルが定着し、日常を取り戻しつつあります。

昨年はDXの推進に伴い、多くのデジタル化を皆さんの協力のもと進めて参りました。本年におきましても、デジタル化を強力に推し進め、更なる改善を行いたいと考えております。

最後となりますが、2023年が、グループ皆さんにとって、幸多き二年となることを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年、あけましておめでとうございます。

アイ・リンクグループの皆さま、ご家族の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、多大なご尽力とご支援を賜り、この場をお借りし、深く感謝申し上げます。

石島運輸倉庫は、今後のデジタル化を見据え、昨年末、物流システム部を設置しました。社内だけでなく、グループ全社の効率化のお手伝い出来るよう、取り組んで参ります。

また、昨年9月には、株式会社ニッタル運輸を新規立ち上げいたしました。本社を石島運輸倉庫内に置き、茨城県ひたちなか市に勝田営業所を設置し、運送業務をスタートしております。こちらを拠点とし、今後の東関東地区での業務拡大を推進していきたいと考えております。

本年も、社会情勢の変化にしっかりと対応しつつ、経営基盤を固めて参ります。結びになりますが、お取引先の皆様、グループスタッフの皆様、そしてご家族の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

効率化と拡大を



株石島運輸倉庫 代表取締役社長
株ニッタル運輸 代表取締役社長

川島 清

更なる飛躍に邁進



株石島運輸倉庫西日本 代表取締役社長
株アイ・リンクサービス 代表取締役
大西運輸サービス株 取締役社長
内畑運送株 代表取締役社長

上田 二三夫

アイ・リンクグループの皆さま、新年あけましておめでとうございます。

おかげさまで、無事新年を迎えることができました。は、ひとえに皆さまのご協力の賜物です。

さて、大西運輸サービス、内畑運送は2021年9月にグループ入りし、今年で3年目となります。グループ入り前からすると、大きな変化がある中、スタッフさんは戸惑うことも多かったと存じますが、現在は日々の業務で今まで以上に活躍している姿を拝見しております。今年は更なる飛躍が出来るようしていきます。

アイ・リンクサービスに関しましては、社会情勢に左右されることが多いですが、変化に対応し今後更なる発展の為に、邁進して参ります。

グループの皆さま、ご家族の皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。本年も倍旧のご支援ご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基盤強化と

エリア拡大を



株 石島運輸倉庫西日本
執行役員

藤松 政彦



新年、あけましておめでとうございます。
皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年はひとかたならぬご厚情を賜り、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス対策の中、全国旅行支援開始、ハロウィン等の大型イベントが続々再開、屋外ではマスクなしを国が推奨するなど、経済も徐々に回復の兆しが見えてきていると感じます。

さて、石島運輸倉庫西日本はおかげさまで3年目を迎えることができました。昨年は社内の基盤づくり に注力した一年でしたが、まだまだ盤石と言うまでには至っていないのが現状です。

2023年は卯(うさぎ)年です。うさぎはその飛躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれています。石島運輸倉庫西日本は業務のデジタル化を推進し、更なる基盤強化と業務エリア拡大、SDGsへの取り組み等、全員の力を結集させ新たな事へと挑戦し、大きく飛躍できるよう邁進して参ります。

本年も皆さまにとって良い一年になりますようお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

アイリンクグループの皆さま、ご家族の皆さま方におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は皆さま方に多大なるご尽力・ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

一昨年から燃料高騰に始まり、昨年には各種物品の値上がりがあり、家庭や会社に大きな影響を与えています。この状況は今年も続き、大変先行きが厳しい状況となっております。

しかし全京運輸にとっては、今の状況を打破できる若いドライバーさんの入社が増え、頼もしいばかりです。今年も、その若い方達も含め、経営理念を基に全京がチーム一丸となって活動出来るようにしていきたいと思っております。

最後になりますが、アイ・リンクグループの皆さまと、ご家族の皆さまのご健康とご多幸を祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

理念を基に

一丸となる



全京運輸株
代表取締役社長

籾内 久男



新年明けましておめでとうございます。

昨年中におかれましては、原油高騰やコロナが終息しない厳しい状況の中、お客様、協力会社様、スタッフさん並びにご家族様をはじめ、グループ各社の皆様には、多大なご協力・ご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、2023年は「癸(みづ)の」と卯(うさぎ)年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきましたので、新しい事に挑戦するのに最適な年と言われています。

アイ・ロジアドバンスとしても「飛躍」「向上」を目指すべく、組織基盤を充実させ、新たなエリア・新規事業の模索と顧客の獲得を推進し、事業拡大を目指します。また、今まで以上に人材育成に力を入れ、継続的な会社の発展及び社会貢献に繋がる企業作りを目指して参ります。

2023年も良い年でありませうように、スタッフさん並びにご家族様・グループ各社の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

飛躍・向上の年へ



株 アイ・ロジアドバンス
代表取締役社長

池田 泰孝



Change & Challenge



株マルトウ 代表取締役社長
株協栄運輸 代表取締役社長

澤田 豊



新年、明けましておめでとうございます。

昨年中におかれましては、スタッフさん、ご家族の皆さま、グループ各社皆さま方の多大なご協力・ご尽力により、無事新しい年を迎えられたこと、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、燃料高騰に始まる原材料価格問題、車両調達の停滞、withコロナのもとでの勤務形態の多様化など、取り巻く環境はますます変化してまいりました。目前をみても、コロナの影響による輸送物量減少、雇用のミスマッチ、2024年度を見据えた労働時間問題と、難問は山積しております。

そして今年の干支は、「飛躍」、「向上」を意味する「卯年」。成長・発展を願い、Challenge&Challengeにより、多くのことに前向きに挑戦して参ります。

最後にはなりますが、この新しい年が、グループ各社、スタッフの皆さま、ご家族の皆さまにとって良き年となりますことをご祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。本年も何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2023年は卯年。本来の干支でいうと癸卯（みずのと・う）と呼ばれ、癸卯には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しているそうです。

昨今、我々整備業界は法令順守の厳格化、トラック整備のブラックボックス化、整備士の就職希望者の減少など、業界として難問が山積しております。そのような中、グループ並びに地域の皆さまの安心・安全の車両運行を直接支えていくのが我々の役割と自負し、新たな取り組みに挑戦し続けています。

癸卯の縁起の良さも期待し、今年にはフォーク事業を中心に新市場・新サービスを主軸に新中期に向け「多角化戦略」を本格的に推進して参ります。

グループ並びにわが社にとって良い年でありますように、また、皆さまにとっても素晴らしい年でありますよう御祈念申し上げます。私からの年頭の挨拶とさせていただきます。

多角化戦略の

推進を



平和自動車工業株
代表取締役社長

深井 俊光



次のステップへ

キャンパス株
取締役会長

奥田 真一



新年、あけましておめでとうございます。

旧年中は、各方面にわたり、皆さまからご協力を賜り、無事新年を迎えられることができたことを心より感謝申し上げます。

昨年はギャバンスにとって、万難を排して飛躍しなくてはならないという一年でした。一昨年末までの、グループにご迷惑をかけているという不甲斐ない状況を脱すべく、アイ・リンクグループの精神、手法すべてを取り込む意気込みでこの一年取り組んで参りました。おかげ様で一定の成果を出すことができた年でした。これもひとえにグループ各社皆さまのご協力とLHのご指導の賜物だと感謝しております。

今年は、次のステップを目指すべく、新しいことに挑戦しながら、積極的に新規お取引先様を増やし、飛躍の年にして参ります。

引き続き、ご指導ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

着実な成長で、

次のステージへ



株 崎 戸 運 送
社 長 執 行 役 員

中島 圭太郎

アイ・リンクグループの皆様、新年あけましておめでとございます。

グループ各社、そのご家族の皆さま方におかれましては、新しい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、崎戸運送は昨年9月末にグループに加入し、三か月が経過致しました。2023年は、アイ・リンクイズムを社内に浸透させるほか、グループで共有できる情報や享受できるものを、フル活用する環境を整えて参りたいと考えております。

そのうえで、改めて基本に立ち返り、やるべき事を確実に実行し、継続する体制の強化を図り、環境の変化に立ち止ることなく、グループ全体の最適解を模索し、次のステージへ進んで参る所存です。

グループの皆さま、そしてご家族の皆さまのご健勝とご多幸、グループを支えて下さる方々に感謝し、今年は無年ということ、グループ全体が飛躍・躍進できますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

わがまち
紹介

人も温泉もあつまち

～群馬県太田市～

記：大澤健人



写真1
草津温泉の湯畑。
芸術家・岡本太郎がデザインしている

すが、胸を張って言える。群馬はすごい！

アイ・リンクグループ発祥の群馬県。人口は約1991万人。群馬県の運転免許保有率は、なんと50年以上1位。全国トップクラスの自動車社会です。どこに行くにも車、車……みーんな車を持っています。

大好きな場所をご紹介します。まずは「草津温泉」。観光経済新聞社主催の「につぼんの温泉100選」では20年連続1位と、日本を代表する温泉街です。草津の湯は、近くの活火山による火山ガスが合成してできた源泉で、全国的にも希少な「酸性泉」。口に含むと非常にすっぱく（ほんとはダメ）、傷があればとつても辛い思いをします。自然に湧き出る温泉の量（自然湧出量）は日本一であり、草津温泉の中央の湯畑には豪快に湯が湧き出しています。写真①。それを取り囲むように、様々な施設が立ち並び、「エンタメ」「お湯の質」の両面でごままで完成度の高い温泉地はないでしょう。

そのほか、群馬には多種多様な泉質の温

「群馬県」と聞いたとき、何を思い浮かべますか？

「魅力度ランキング最下位争い」「グンマ」等々……
「自虐的な情報も多いで

泉があり、県内の温泉をめぐるたび、「群馬って最強だ」と郷土愛が爆発……。

人だつて熱狂的。石島運輸倉庫創業の地、「群馬県桐生市」の一大イベント「桐生八木節まつり」。中心市街地の何力所にも櫓（やぐら）が組み上げられ、櫓で「八木節音頭」が披露されると、周囲にお祭り好きの市民らが大集結。上品に踊るといふより、最高に騒ぐ。写真②。その迫力に、初めて行った人は面を食らい、されど気付けば踊りの輪へ。新型コロナウイルス感染拡大で、中止や縮小を余儀なくされていますが、いつかきっとこの光景が戻ると信じています。

ぜひ、一度、群馬県へ！



写真2
大熱狂の桐生八木節まつり

安全第一を体現



碩卓朗さん
(せきたくろう 61)

関東運輸局長表彰を受賞



安全第一で運転する

当たり前のことを
やってただけです。

関東運輸局長表彰を
受賞した碩さん



永年にわたり運転業務に努め、優秀な勤務成績を収めたドライバーさんを表彰する「関東運輸局長表彰」に、石島運輸倉庫輸送課の碩卓朗さん(61)が選ばれた。ドライバーとなり約35年。受賞に「安全に業務を行うという当たり前のことをやってきただけです」と話す。

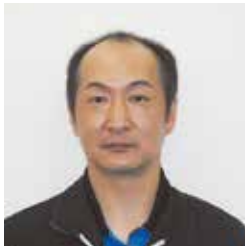
碩さんは鹿児島県生まれ。20代で上京し、ドライバーとなった。「昔は運行管理者として働いたり、リフトマンをやっていることもありました」と懐かしむ。30代中盤で群馬に移り住み、2001年に石島運輸倉庫に入社。現在はチャーター便の大型トラックを運転している。

荷物をしっかりと届けることはもちろん、「無事故で帰るのが何より大切」と話す。「時間に追われたりすると、運転が荒くなってしまう。でも、そこで無理はしなかった。事故を起こしたら何もならない。焦るとろくなことがない」と気を引き締める。

石島運輸倉庫では20年以上働くベテランで、配車係のスタッフさんからは「先輩だけれど、温かな性格で接しやすい方」と慕われる。「定年は迎えたけれど、もう少しできるかな。やれるだけは運転したい」と碩さん。今日も安全第一で真心をつないでいる。



新スタッフさん紹介



石島運輸倉庫西日本
岐阜営業所(Drさん)
三輪 武司さん(みわ たけし)



石島運輸倉庫
本社輸送課(Drさん)
狩野 司さん(かのう つかさ)



石島運輸倉庫
太田流通センター(倉庫)
藤生 勝利さん(ふじう かつとし)



アイ・リンクホールディングス
総務部(事務職)
窪田 真也さん(くぼた なおや)



石島運輸倉庫西日本
福岡流通センター(Drさん)
小池 一夫さん(こいけ かずお)



石島運輸倉庫西日本
福岡流通センター(Drさん)
岡谷 博記さん(おかや ひろき)



大西運輸
(Drさん)
藪田 和宏さん(やぶた かずひろ)



ギャバンス
各務原センター(物流担当)
細田 邦親さん(ほそだ くにちか)



ギャバンス
各務原センター(事務職)
井戸 百利子さん(いど ゆりこ)



マルトウ
(Drさん)
清水 亮さん(しみず りょう)



全京運輸
(Drさん)
池田 虎之介さん(いけだ とらのすけ)



全京運輸
(Drさん)
古家 浩己さん(ふるや ひろき)

新春号とはいっても、実際に制作に勤しむのは12月。2022年を振り返りながら、文章を起こしている。過去のアイ・リンクだよりをめぐり、今年も色々な人にお世話になったなあ、と感謝を込めながら▼アイ・リンクだよりは、2021年の9月から編集委員会発行となり、内容が拡充された。正直、21年は締め切りに追われながらの製作だった。載せたいものを考えるよりも、完成させることが第一で、内容にこだわらなかった。2022年は、編集委員それぞれが社内報にも慣れ、製作プロセスがしっかりと共有された▼「企画をやりたいんです」。編集会議を開くたびに、私が各委員に対して伝えていたことは、成果として現れたのは22年9月号の「ギャバンス北方センター改革」。センターの紹介、取り組み、成果…。3ページの大作で、反響も大きかった。担当した編集委員の宮南さん(ギャバンス)に、改めて感謝を伝えたい▼2023年は、さらに魅力的な冊子となるよう、デザイン・内容ともに充実させていく。また、スタッフさんから「載せてほしい」とご依頼いただければ、積極的に掲載していきたい▼今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。(編集委員・大澤)

編集 後記

「企画」で彩りを



本年もよろしくお願ひします!

編集委員一同

